

下関市医療対策協議会（下関医療圏地域医療構想調整会議）  
（令和５年度第２回）議事概要

【日 時】 令和５年１０月２７日（金） １９：００～２０：１０

【場 所】 下関市役所 西棟５階 大会議室

【出席者】 出席者名簿のとおり

【議事内容】

- 第８次山口県保健医療計画の素案について説明を行った。
- 地域医療構想の進捗状況の検証を行うとともに、検証を踏まえて行う必要な対応等について合意した。

１ 第８次山口県保健医療計画の素案について

県医療政策課から、第８次山口県保健医療計画の素案について説明を行った。

（主な意見・質問等）

- 地域医療構想について、下関市で今年 100 歳になった人は、例年より多かったが、構想で掲げた医療機能の分化・連携の方向性は、本当に合っているのか。  
⇒ 地域医療構想は、団塊の世代が 75 歳以上になる 2025 年を目標年度として取組を進めており、下関圏域では、将来の医療需要等を見据え、急性期機能の集約化等を進めている。  
次の地域医療構想は、国が現在の取組の成果、課題等を踏まえて検討する予定であるが、まずは、2025 年に向けて、地域に必要な取組を進めていくことが重要だと考えている。
  
- 在宅医療について、人口が多い地域では在宅患者への巡回診療がしやすいのかもしれないが、下関市のような過疎化が進む地域では、誰が責任を持って在宅患者を診るのかをはっきりしてほしい。  
⇒ 下関においては、医療と介護、多職種の方が連携しながら、熱心に取り組んでいただいている。人口減少が進む中で、在宅医療を確保・充実していくためには、市、医師会、多職種の方が連携する体制を作ることが重要だと考えている。

○ 山口県医師確保計画について、地方の国立大学医学部の学生は半数が女性であり、出産や子育ての後は、復職支援が必要な場合等があるため、どのように医師を確保していくのかを具体化してほしい。

⇒ 山口大学でも医学部の女子学生が増えており、山口大学、県医師会と連携し、子育てに関するサポート、復職支援といった相談体制を整えている。今後も必要な支援について、関係機関とも連携しながら考えていきたい。

## 2 令和4年度病床機能報告結果について

### 3 地域医療構想の進捗状況の検証について

県医療政策課から、令和4年度病床機能報告結果について説明を行った。

また、令和5年度第1回調整会議で協議・合意した圏域全体の医療提供体制や各医療機関の役割分担の方向性等を踏まえ、地域医療構想の進捗状況の検証を行うとともに、非稼働病棟を持つ医療機関の今後の見通しや、圏域の課題を解決するための年度ごとの工程表の策定等について協議し、合意した。

(主な意見・質問等)

特に意見・質問等はなし